

希望のヤギ

～リプタコ・グルマとリジリエンスのお話～



作者:星野ルネ

監修: UNDP

国内避難民の
家庭に仔ヤギを
2頭ずつ
配るとしよう

オスとメスを
どういう
組み合わせで
支給するのが
良いと思う？

西アフリカ とある地域



オスとメス
でしょ!!!

まあ
普通はそう
思うよね

えっ違うん
ですか?!

答えは
すぐに
わかるよ

日本の大学生
のぞみ

グヤワヒ町



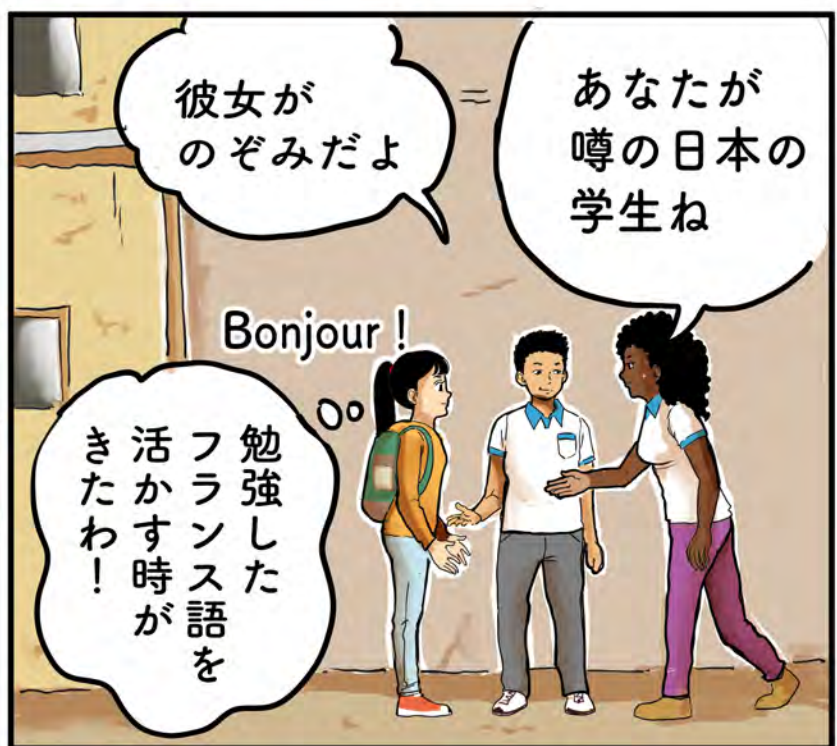
UNDP職員
藤浦アニル

この町は
リプタコ・グルマ
という地域にあって
国内避難民を
受け入れて
いる町の1つだ



ニー・イベオゴ!

現地語の
モレ語の
挨拶よ



彼女が
のぞみだよ

あなたが
噂の日本の
学生ね

Bonjour!

勉強した
フランス語を
活かす時が
きたわ!

彼女は
ファティマタ

国内避難民の
支援活動を
しているんだ

ハア〜イ
UNDP現地職員
ファティマタ

色々な理由で
家を追われ
自国内での
避難生活を

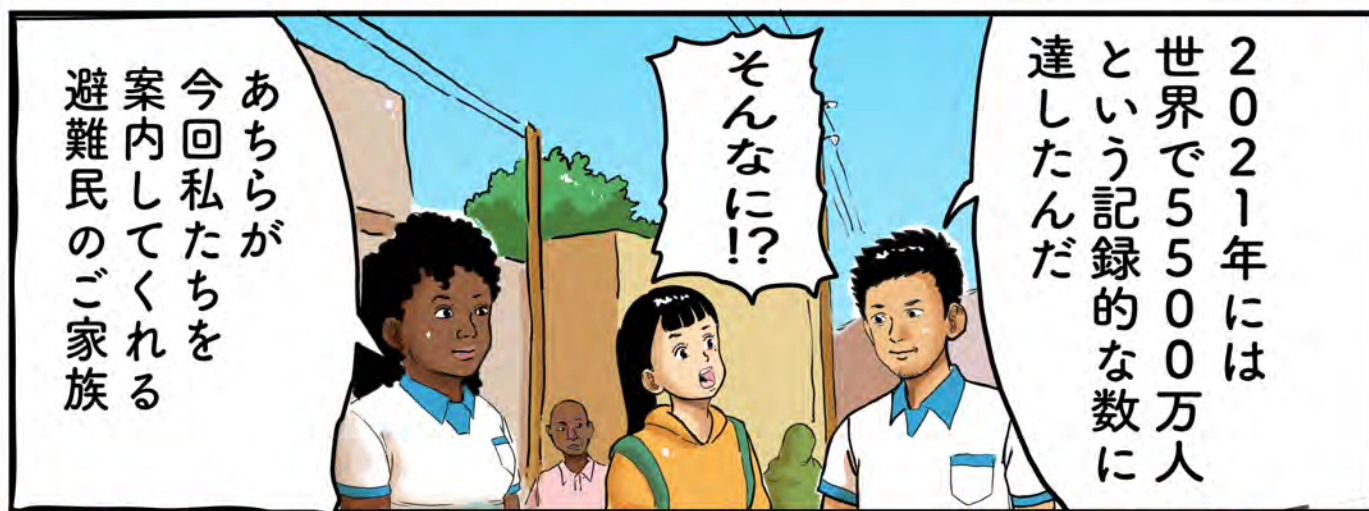
余儀なくされて
いる人々を
国内避難民
と呼ぶの



2021年には
世界で5500万人
という記録的な数に
達したんだ

そんなに!?

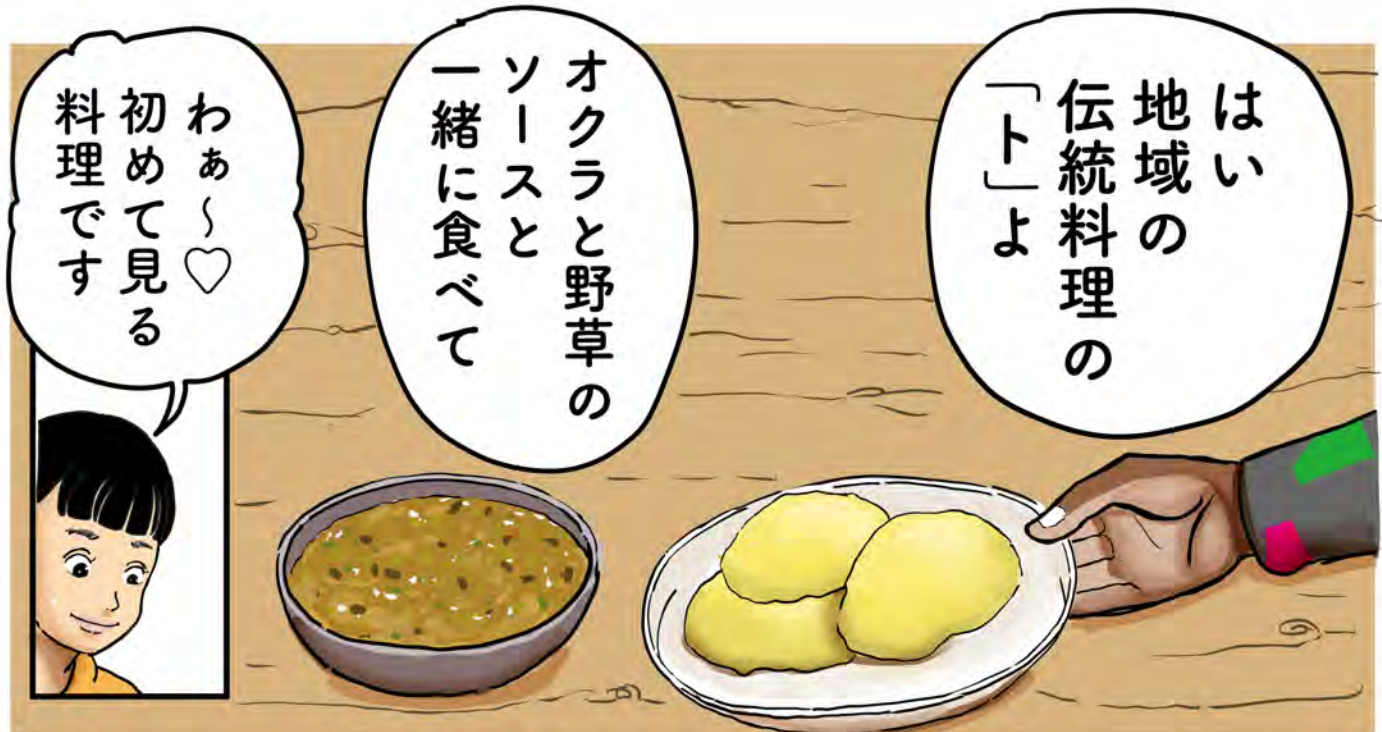
あちらが
今回私たちを
案内してくれる
避難民のご家族



ベレム家の
みなさんよ

ようこそ

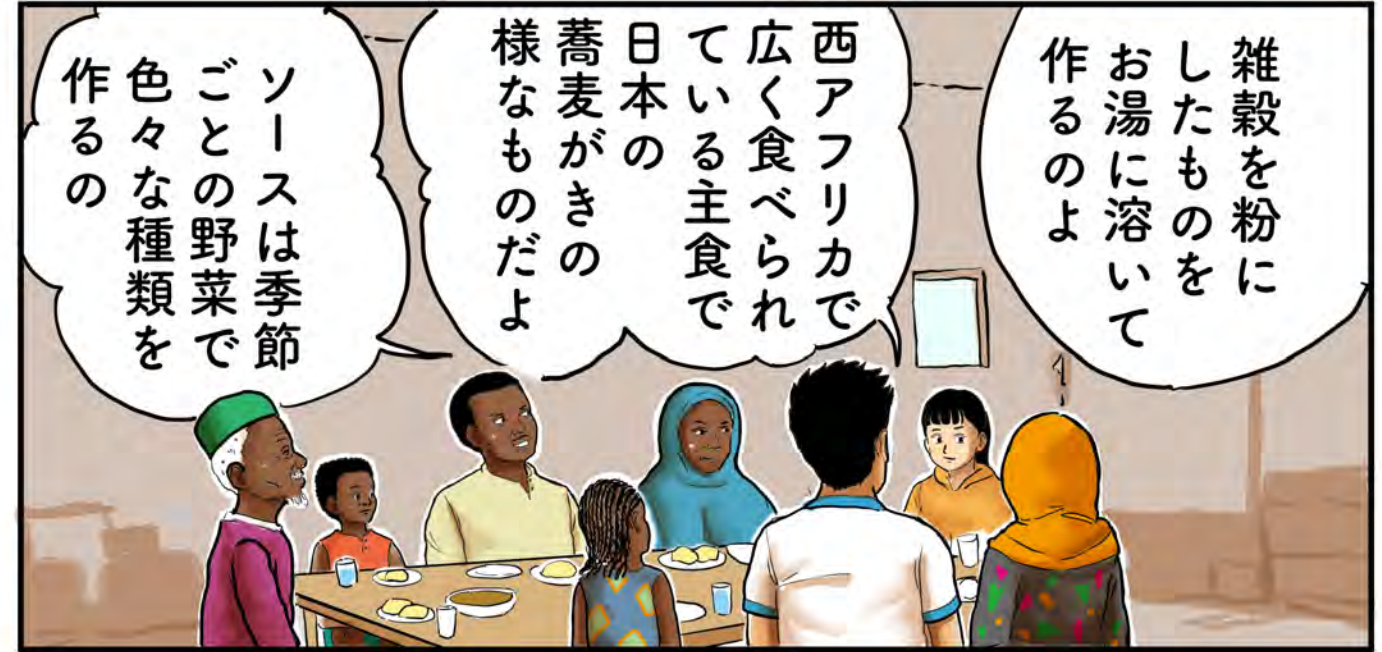




はい地域の
伝統料理の
「ト」よ

オクラと野草の
ソースと
一緒に食べて

わあ〜♡
初めて見る
料理です



雑穀を粉に
したものを
お湯に溶いて
作るのよ

西アフリカで
広く食べられ
ている主食で
日本の
蕎麦がきの
様なものだよ

ソースは季節
ごとの野菜で
色々な種類を
作るの



なんだか
弾力があって
ソースとも
合ってる
美味しい♪

お口に
合ってたわ
良かったわ

ベレム家母
ザラ



「ト」をソースに
ディップして
食べるんだよ

ベレム家祖母
アイサタ



偶然
リプタコ・グルマに
関する記事を見
つけたのが
きっかけです



のぞみさんが
この地域に興味を
もったきっかけ
は何だい？

ベレム家 祖父
アルナ



それが
ムッシュ藤浦
といういわけか

はい

そしてその日本人が
大学の先輩でUNDPで
活動していると
知りました



なぜこんな
世界の遠くで
活動する日本人が
いるんだろうって

純粹に気に
なりました

支援活動を
している
日本人の
写真を見て



海の向こうから
関心をよせて
くれる方々の
存在も
ありがたい



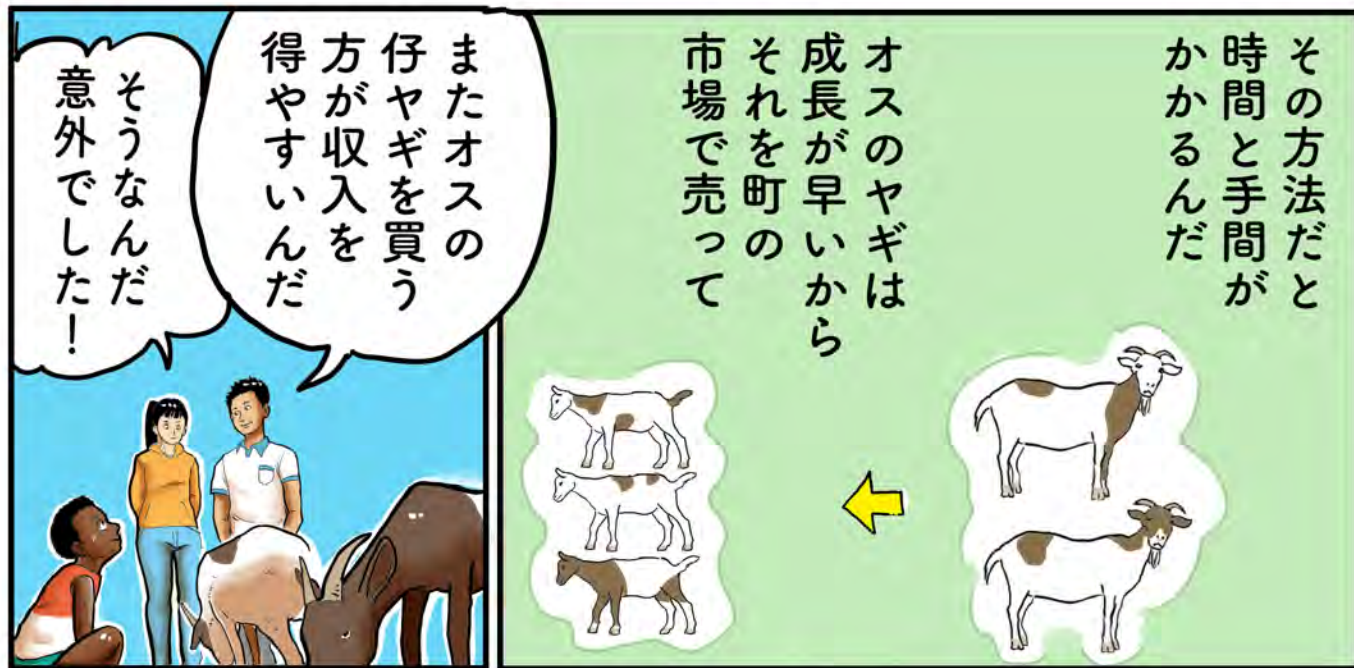
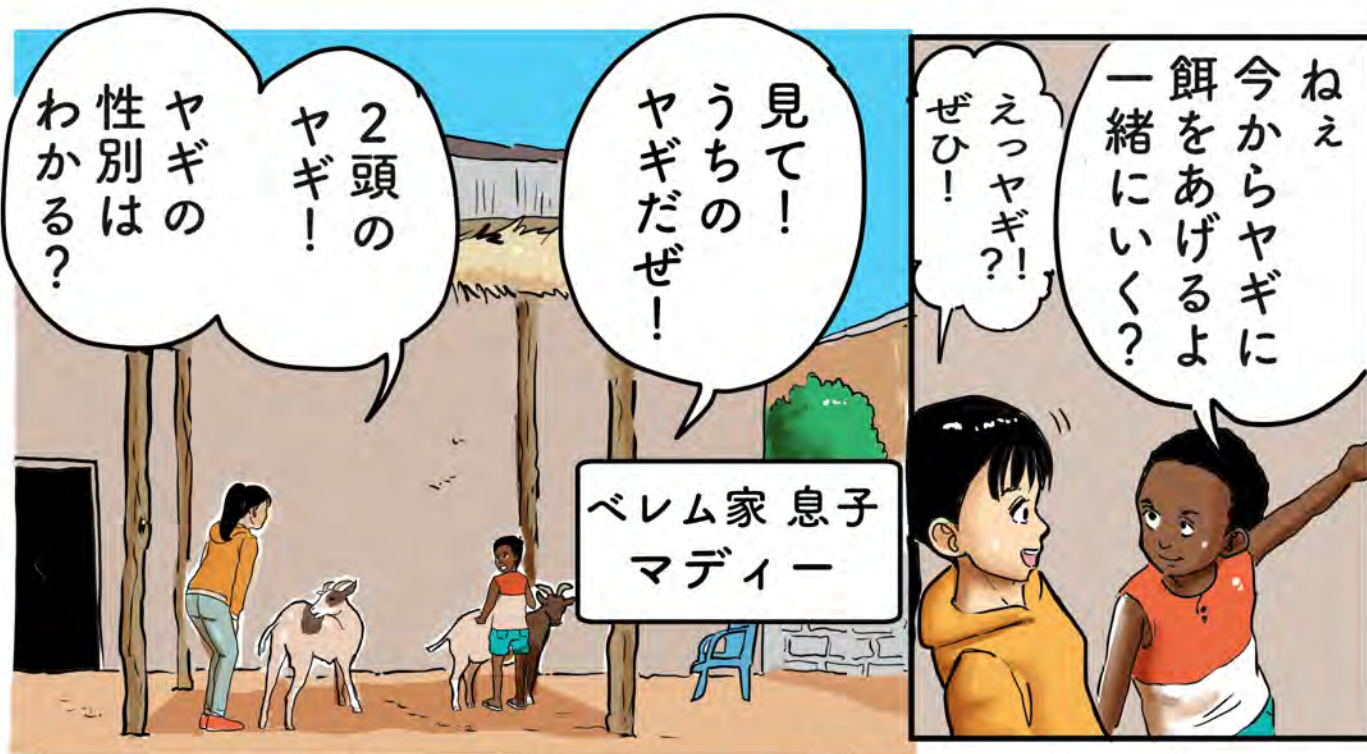
その事に
とても感謝して
いるよ

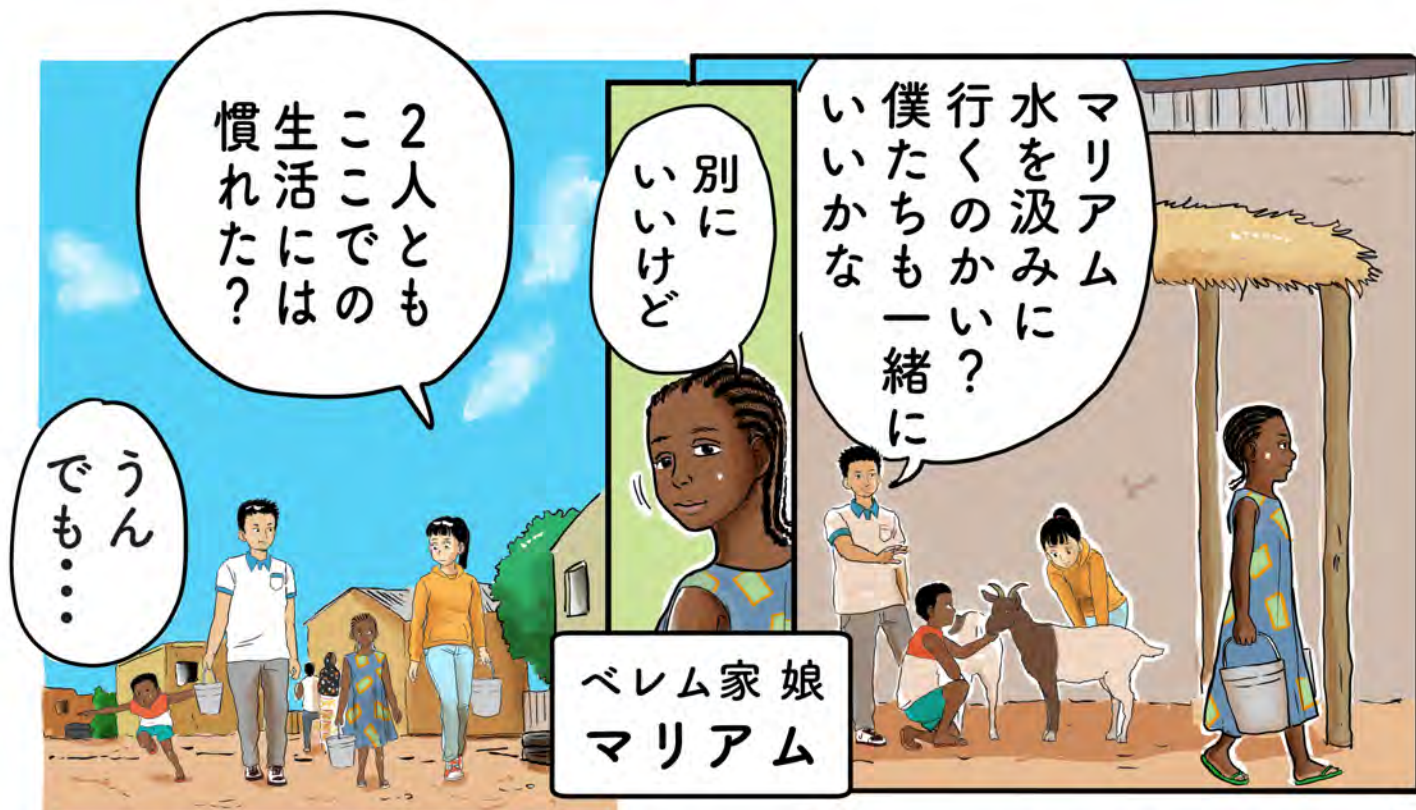
そして
あなたのように

ベレム家 父
ブレイマ

私たちの生活は
ホストコミュニティ
現地住民※や
支援機関などの
協力に支えら
れている

※国内避難民を受け入れ共生している地域・住民を指す。
ホストコミュニティとも





2人とも
ここでの
生活には
慣れた？

うん
でも……

別に
いいけど

マリラム
水を汲みに
行くのかい？
僕たちも一緒に
いいかな

ベレム家娘
マリラム



そっか……

すごく普通のことなのに
それが今は叶わない



また友達に
会いたい

俺もまた
みんなと
サッカー
したい！



避難民たちは
現地住民に
土地と家を借りて
暮らしている
頼る親戚や家を借りる
お金がない人たちは
支援機関が用意する
シエルターで暮らす
ことになる



ここグヤワヒ町の
元々の人口は
12万人だが
今は国内避難民の
流入で40万人
に増えている

3倍以上、
そんなに大勢
避難民が
いるんですか

今僕たちがいる
グヤワヒ町は
「リプタコ・グルマ」
地域という
西アフリカの



リプタコ・グルマ
という地域は
世界が直面する
様々な問題が
凝縮された場所
なんだ

気候変動の
影響と

自然災害



構造的な
貧困と不平等

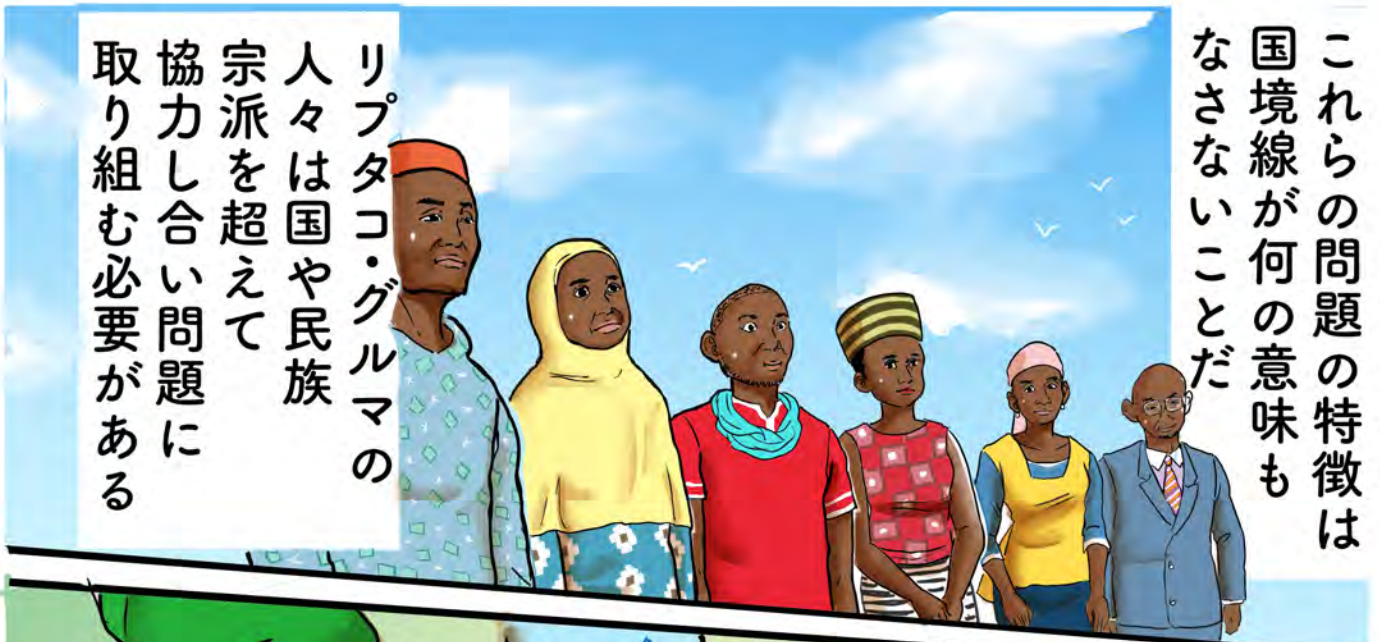


紛争と
暴力的過激主義



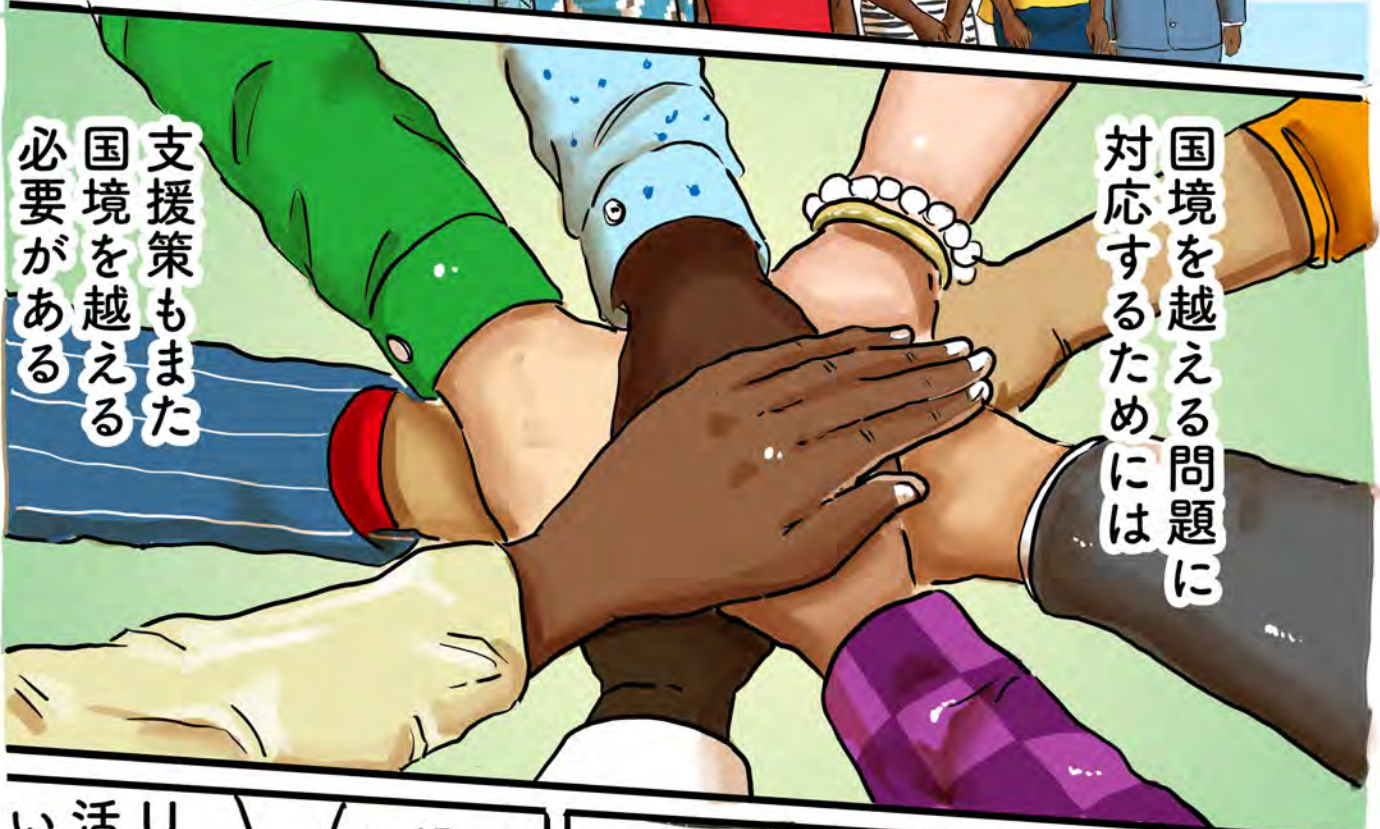
これらの問題の特徴は
国境線が何の意味も
なさないことだ

リプタコ・グルマの
人々は国や民族
宗派を超えて
協力し合い問題に
取り組む必要がある



国境を越える問題に
対応するためには

支援策もまた
国境を越える
必要がある



この地域には
現地政府をはじめ
様々な国連機関

日本を含む
各国ドナー
現地NGO等が
活動を展開
している

すごく重要な
場所なんです
ね……

UNDPはどんな
活動をして
いるんですか？



UNDP(国連開発計画)は
貧困の根絶、不平等の是正
持続可能な開発とSDGsを
支援する



国連の主要な開発機関だ

世界170の
国と地域の現場
から得られる
知見と経験を
活かした
支援をしている



特定の分野に
特化するの
ではなく17の
SDGsを
つなぐ
包括的な
支援を行う



現地政府・民間企業など
様々な「役者」を繋げ

持続可能な開発への
道のりを「演出」している



問題が起きてから
対処するだけではなく
問題の根本原因の解決に
取り組む活動をしている

いわば消化活動より
火事が起こらない環境
作りに重きを置く

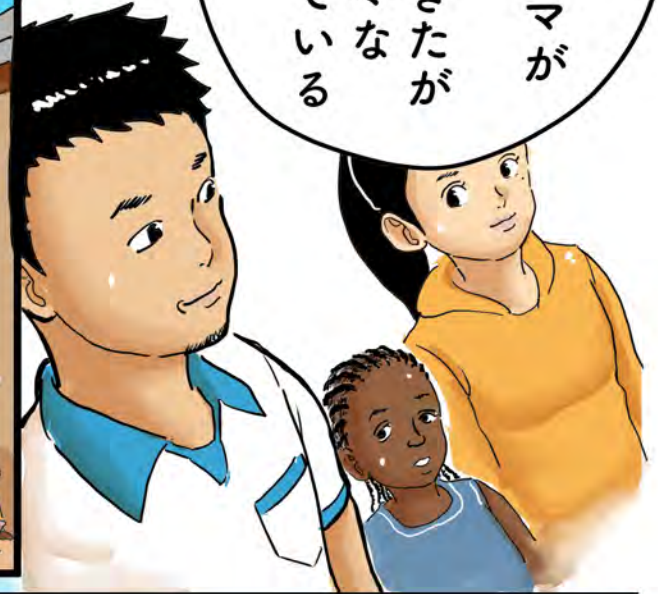
そして小さい火事は
自分で消せるだけの
レジリエンス(強靭さ)を
つける支援を行っている



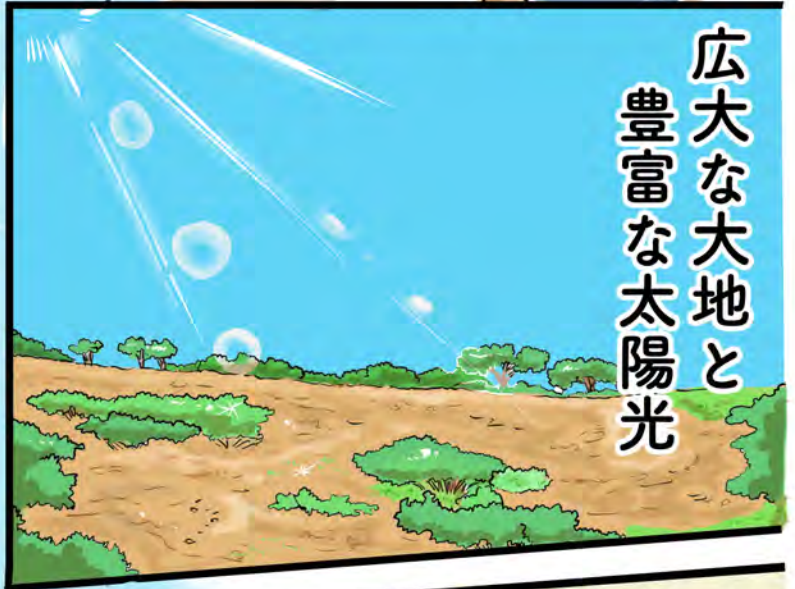
リプタコ・グルマが抱える問題について話してきたがこの地域は色々な可能性も秘めている

この地域は

人口の3分の2が25歳以下の若年層で生産年齢人口が多く



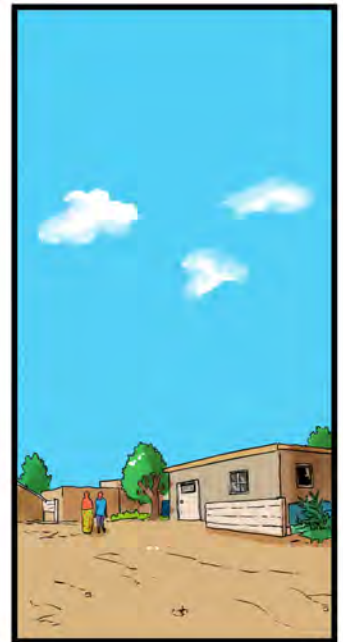
広大な大地と豊富な太陽光



リプタコ・グルマ地域は高いポテンシャルをもつ地域でもあるんですね！

そして地底には豊富な地下水源が眠っているんだ





あれは
何の集まり
ですか？

UNDPの
支援の
一環として
石鹸作りの
研修をして
いるのよ

国内避難民の
方々の
生活手段を
確保するた
めの
大切な技
能
なの

私が習った
作り方を
教えて
あげるわ

石鹸作りを
見るのは
初めてです

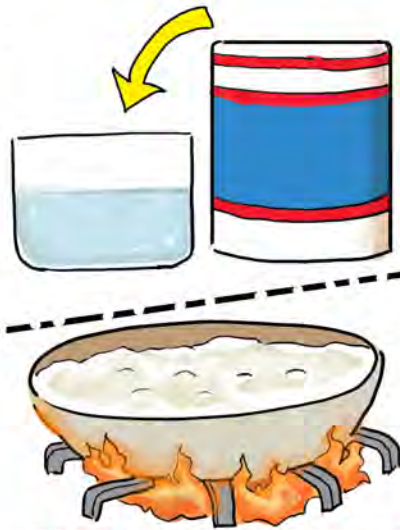
ニー・イベオゴ!
のぞみ

ザラさんも
いらしてたん
ですね

石鹼の作り方は

①前日から苛性ソーダ^{かせい}を水に溶しておく

シアバターは煮立て不純物を取り除く



②シアバターとココナッツオイルを一緒に良く混ぜる



③少しずつ苛性ソーダ液を加える



④ケイ酸ナトリウムと香料を加え15分ほど良く混ぜる



⑤型に流し込み24時間休める



⑥型を外し、マークなどを彫って包装する



⑦1週間以内に使用する事が原則
(保存料などを使用していないため)

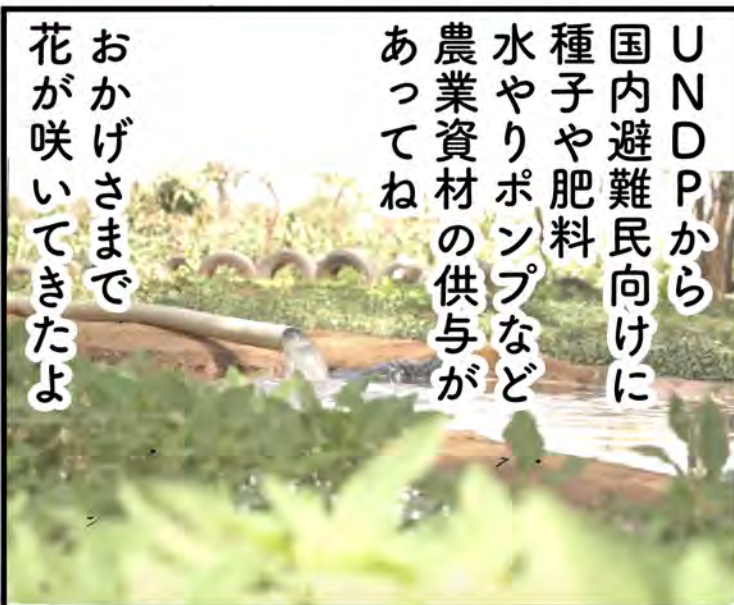
スタータキットとして提供しているもの





ここが
ベレム家の
畑ですか

この土地の
持ち主に
借りてる
畑だよ



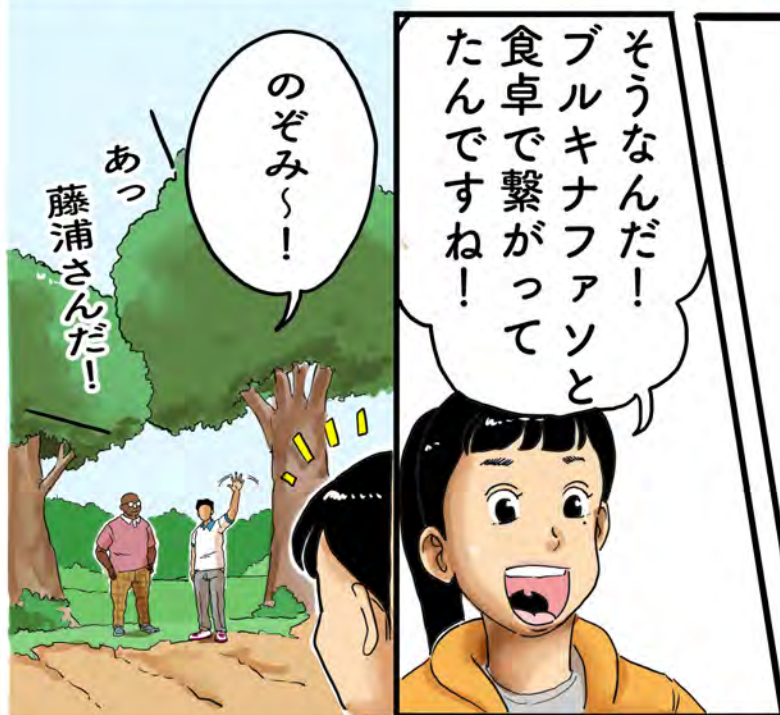
UNDPから
国内避難民向けに
種子や肥料
水やりポンプなど
農業資材の供与が
あってね

おかげさまで
花が咲いてきたよ



この畑で
ゴマを育てて
いるんだ

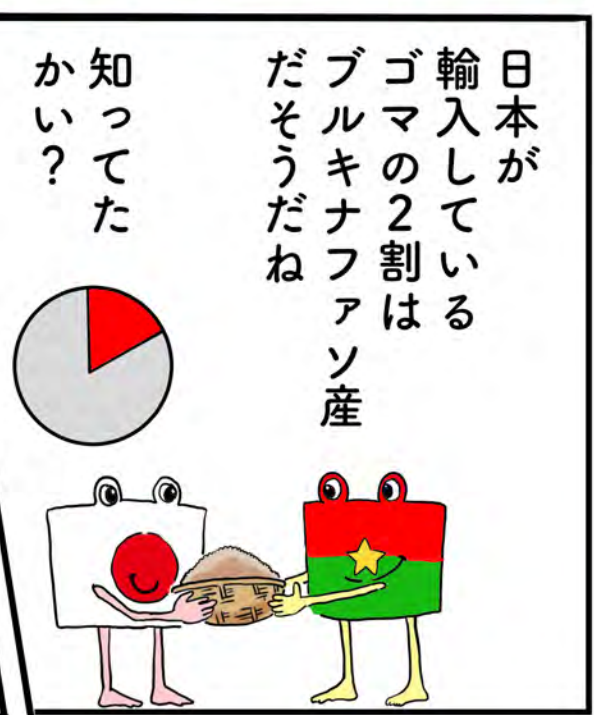
栽培はうまく
いっているん
ですか？



のぞみ〜！

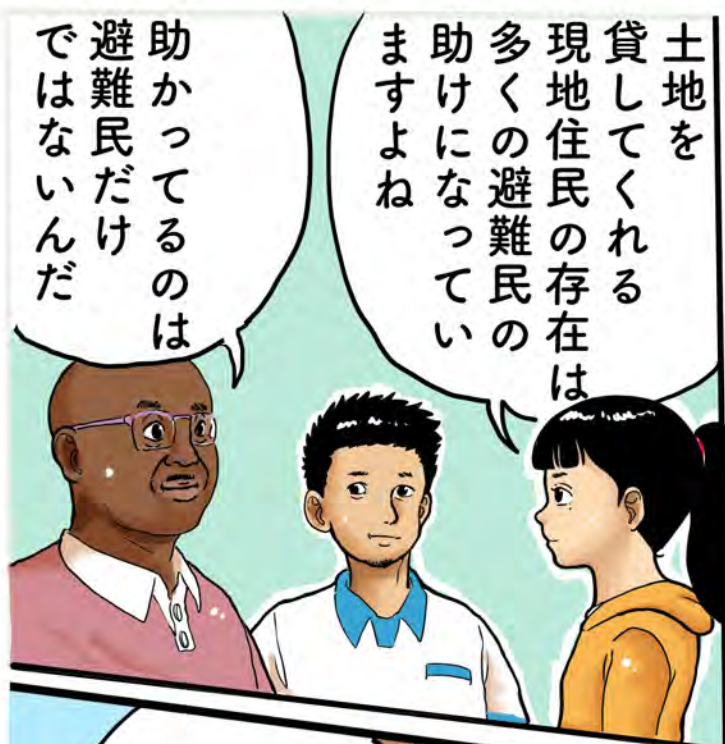
あっ
藤浦さんだ！

そうなんだ！
ブルキナファソと
食卓で繋がって
たんですね！



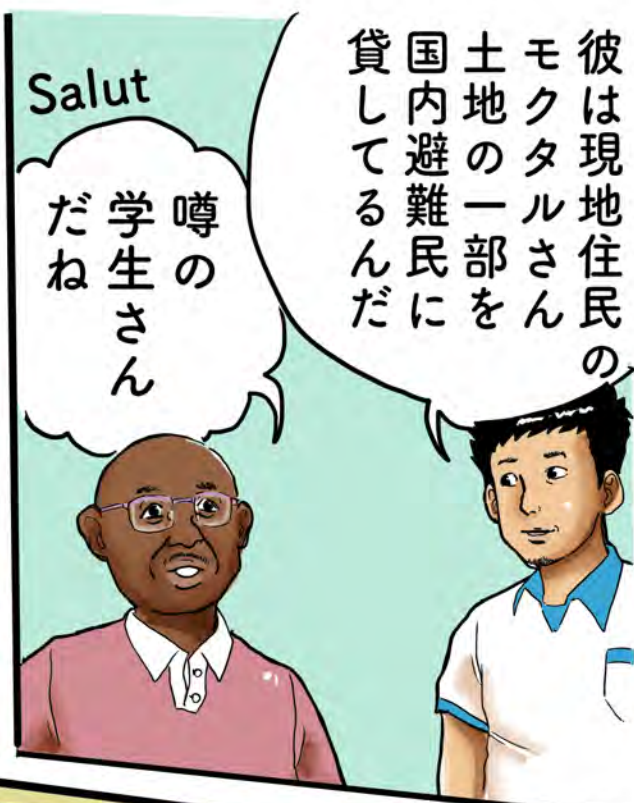
日本が
輸入している
ゴマの2割は
ブルキナファソ産
だそうだね

知ってた
かい？



助かってるのは
避難民だけ
ではないんだ

土地を
貸してくれる
現地住民の存在は
多くの避難民の
助けになってい
ますよね



Salut

噂の
学生さん
だね

彼は現地住民の
モクタルさん
土地の一部を
国内避難民に
貸してるんだ



この地域は
何十年もの間
多くの宗教・民族を
超えて人々が
平和に共生を
してきた



国内避難民に
土地や家を貸す
ことで生計をたてて
いる現地住民も
いるんだ



お互い助け合い
苦しい時期を
乗り越えていく
必要がある



同じ国に住む人は
皆兄弟姉妹
のようなものだ



良い
夕空じゃろ

うん
とても
綺麗

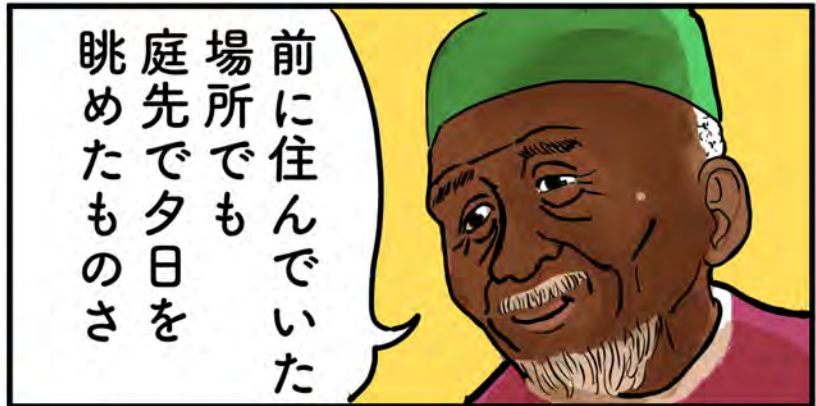


実りある
1日になった
かい？

色々
見られ
ました



わしらが
住んでいたのは
ここから15キロ
ほど離れた
ディウ村じゃ



前に住んでいた
場所でも
庭先で夕日を
眺めたものさ



以前は
どんな場所で
暮らしていた
んですか？



そこに
かけなさい



贅沢は
できないが

生まれ育った
自慢の故郷だ



子供たちを
学校へ見送った



朝は動物たちに
エサをやり



それは
ありふれて
いるが
幸せな日々
だった



息子は
運搬の仕事
に精を出した



私たちは
村で
小さな薬屋を
営んでいた

しかし、数年前から
不穏なニュースを
耳にするようになった

聞いたか
武装集団に
襲われた
村の話

またかよ
今年になって
何件目だ

……

国内の情勢の
悪化に誰もが
不安を感じていた

そして
その時が
訪れた……



村の家畜は奪われ

家は全て

焼き払われた

われわれは
一夜にして全てを失った
先祖代々受け継いで
きたものを

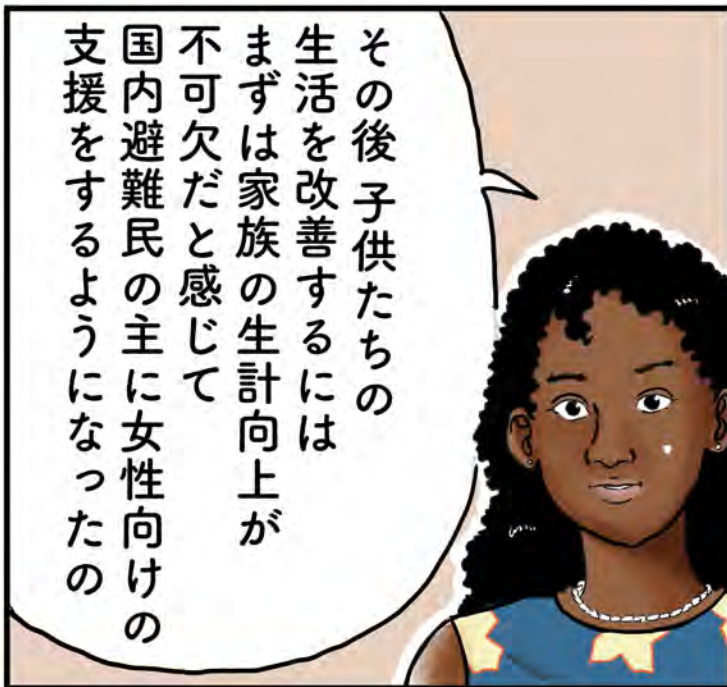
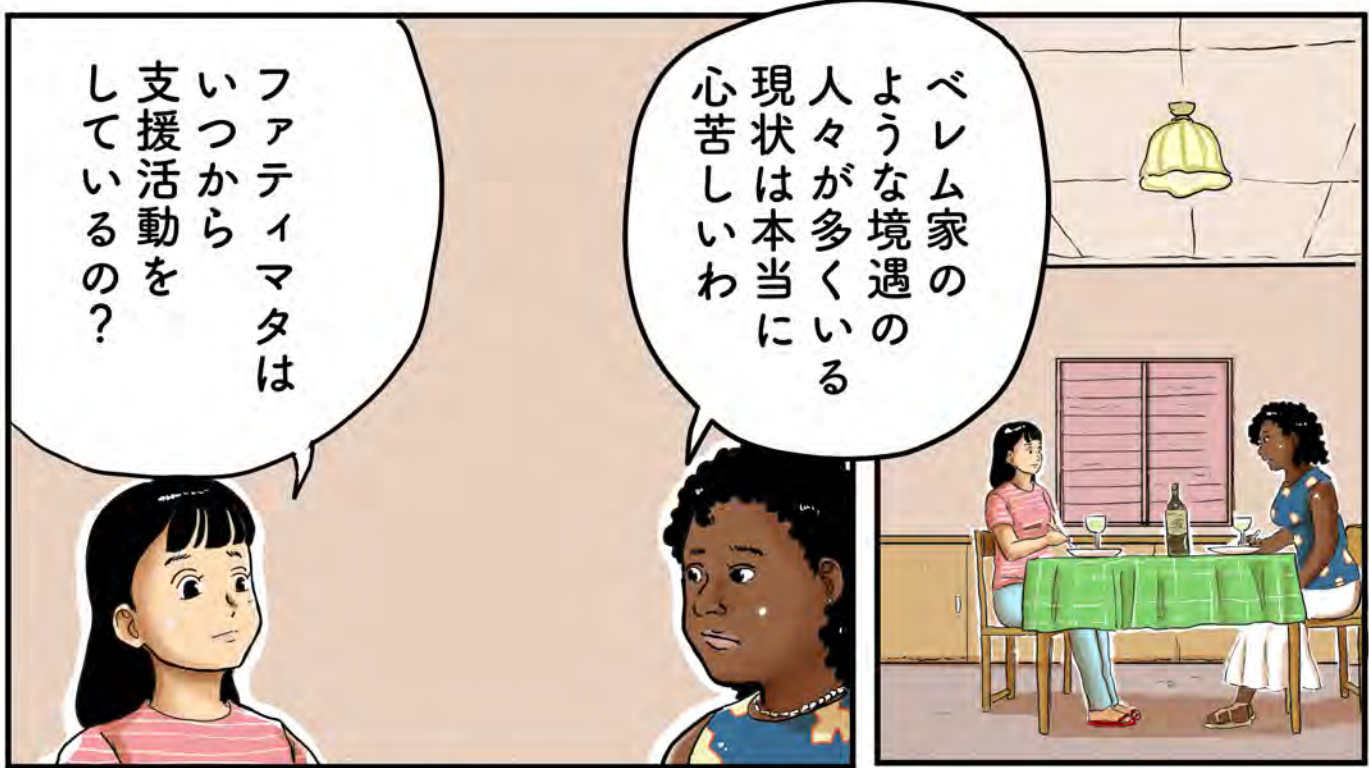
唯一の救いは
家族が全員無事
だったことじゃ

リプタコ・グルマ
地域には多くの
武装集団が存在し

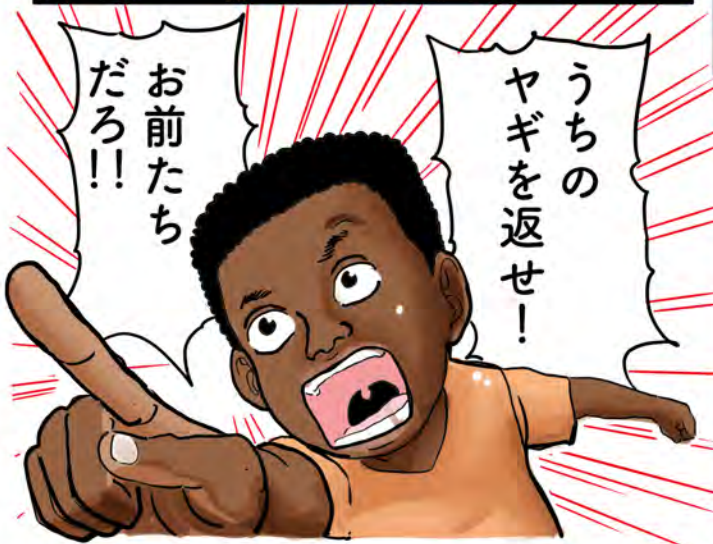
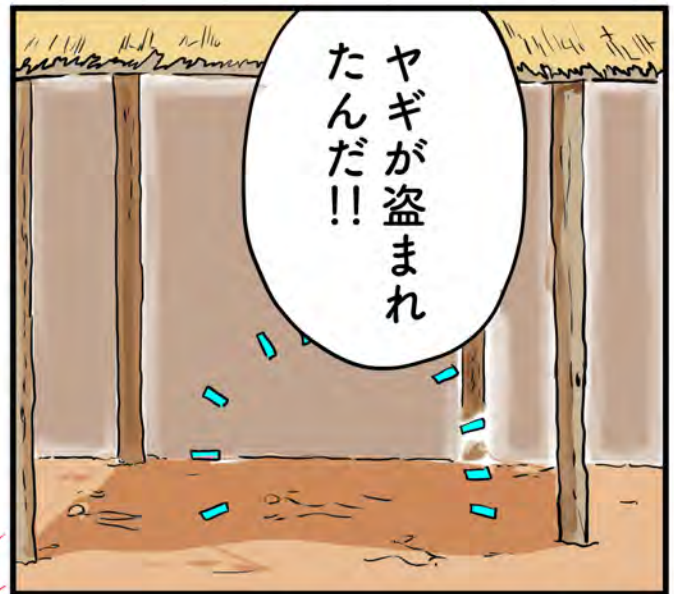
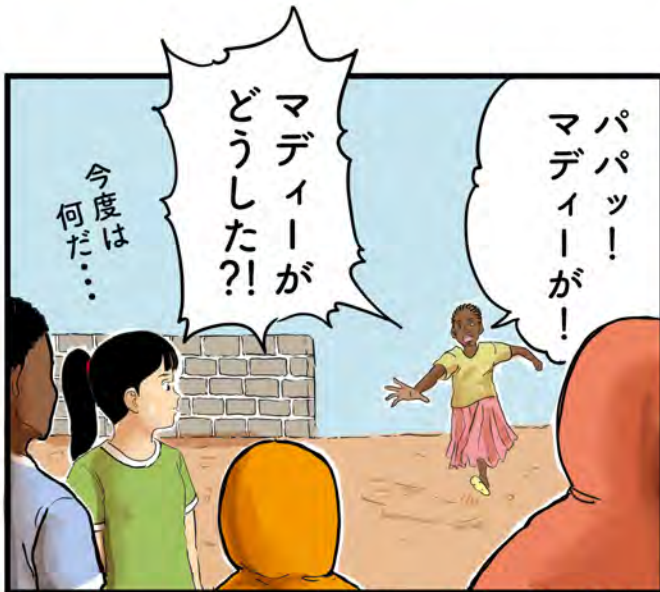
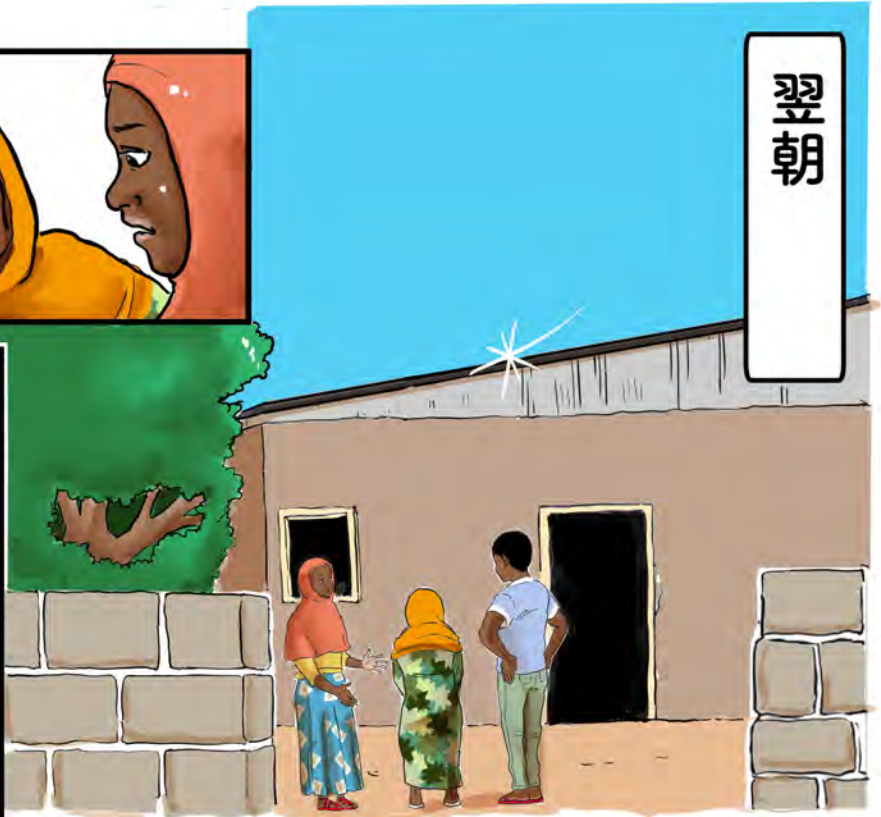
様々な
目的で襲撃を
繰り返している

1つ共通しているのは
このような非行に
よってコミュニティの
分断や不安を煽ることだ

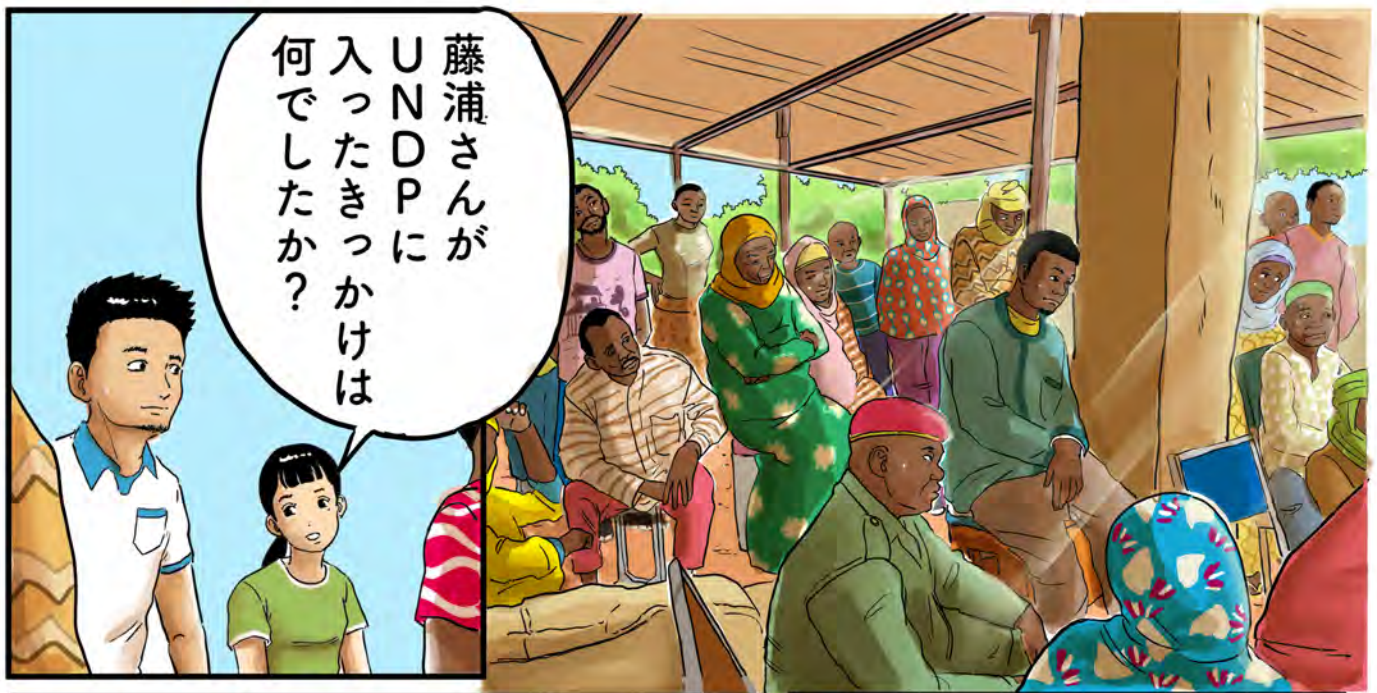
調和を
保てなければ
争いの火種は
すぐに手に
負えなくなる
犠牲になるのは
もつとも弱い……
我々の様な存在じゃ



翌朝

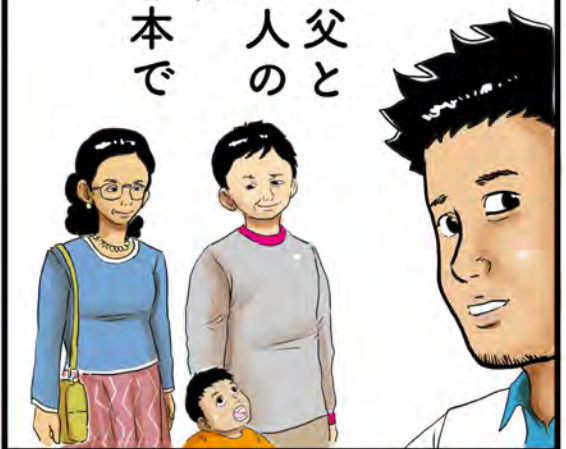






藤浦さんが
UNDPに
入ったきっかけは
何でしたか？

僕は
日本人の父と
ネパールの人の
母の間に
生まれ日本で
育った



肌の色
違うよね？

母ちゃんは
日本語
しゃべるの？



小学生時代は外見やルーツを
珍しがられることが多く
自分が異質な存在に思えた

中学時代に
同級生が何と
なしに発した
差別的な言葉に心を
裂かれることも
あった

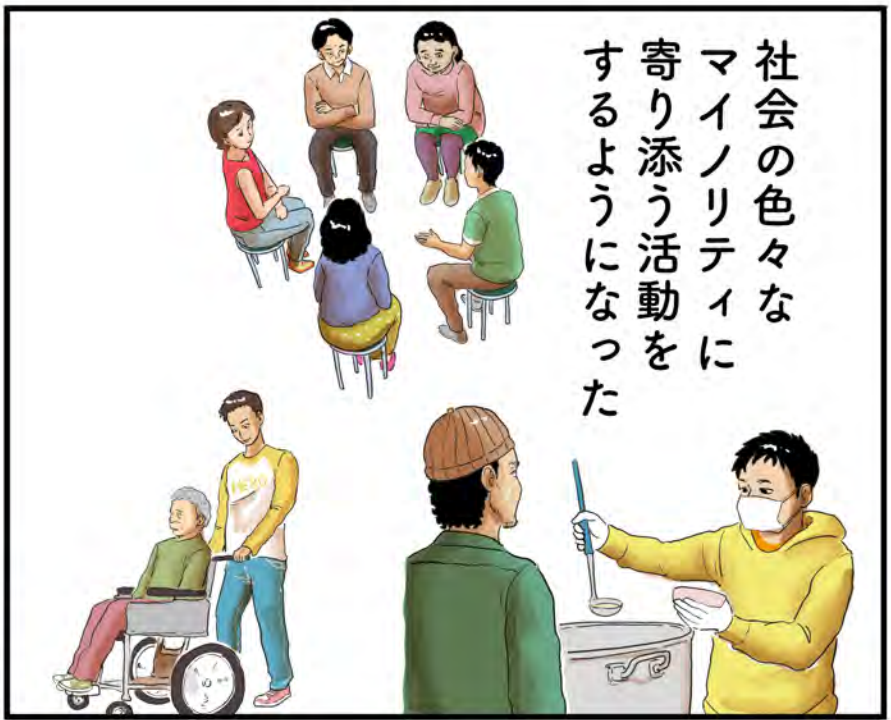
誰も僕の
おかれた状況を
わかってくれない

自分は
マイノリティ
なんだと
強く実感した……



そんな経験から
不当に苦しい
思いをしている
人々のために
働こうと思った





僕たちの
豊かな暮らしは

世界との
交流や連帯に
よって維持
されている

世界中の
人や資源
知識・文化と
どこかで
繋がっている



そうした交流の
恩恵を受ける
地域・人々がいる
一方で

紛争や飢餓
災害に苦しむ
人々がいると
わかった



「自分さえ
よければ」
という無関心が
世界の誰かの
不幸を
助長する

無関心でいる
ことは楽だけど
世界の問題に
無関係の人は
いない

関心をもったら
小さな一歩からでも
いいから
行動に移すことが
大切だね



話が
まとまった
ようだね

現地住民と
国内避難民の
代表の話し合い
の結果

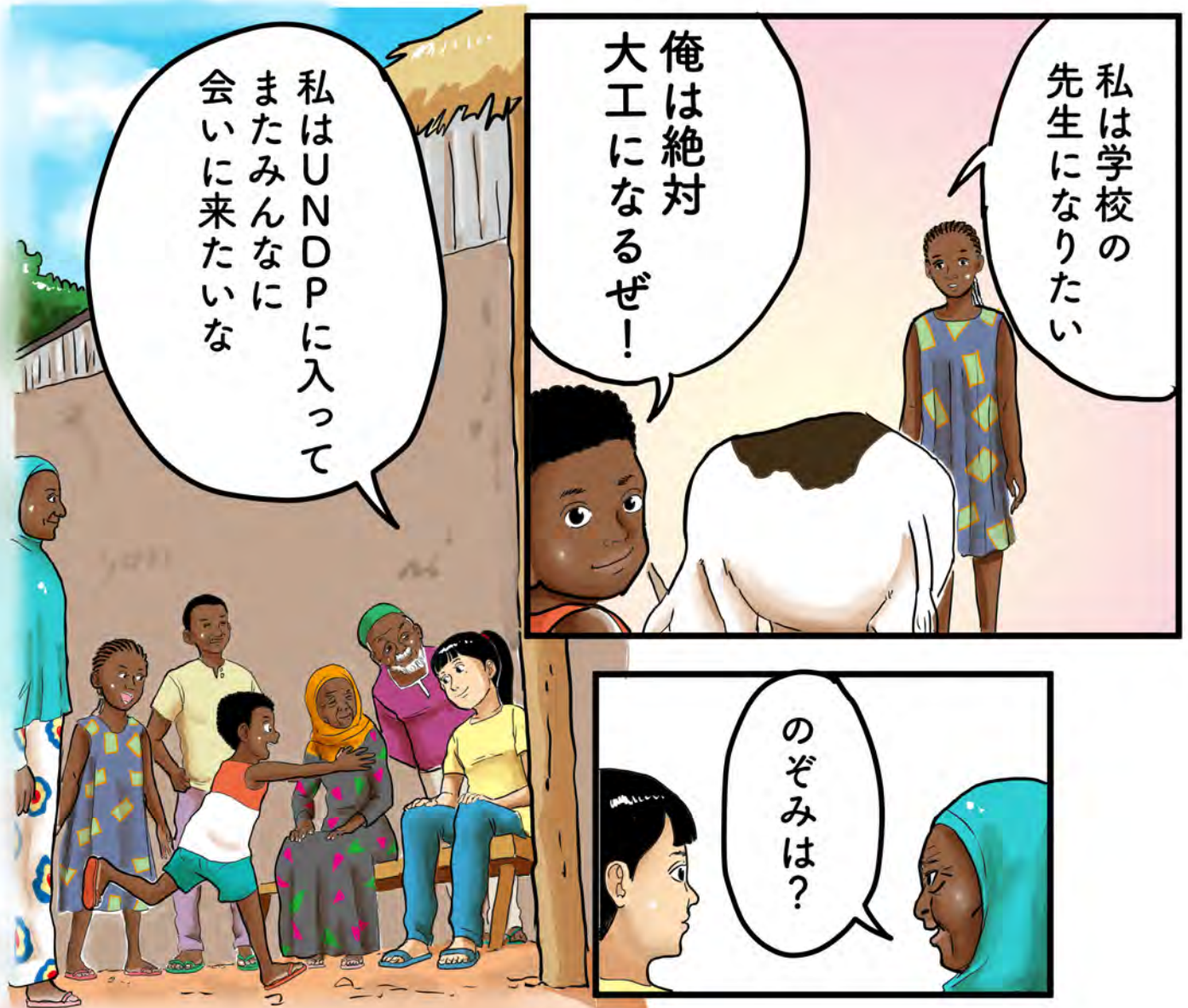
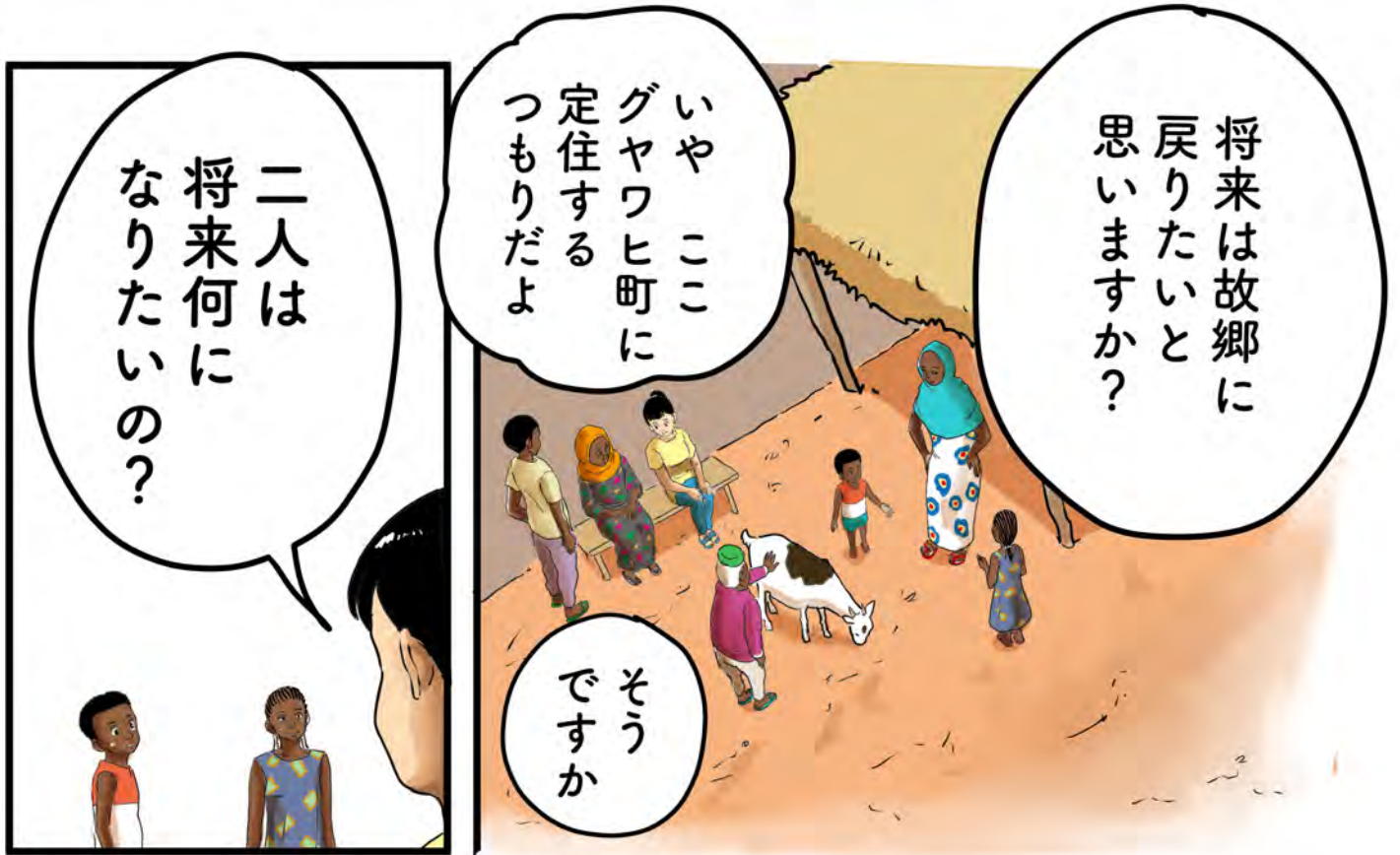
国内避難民の
家畜用の柵を
作るための
木材と金網を
地方自治体と
NGOの協力で
提供すること

交代で夜間の
警備を行うことが
決まった

こういった
共同対話で解決策を
議論するという
プロセスが
社会的結合の
ために重要なんだ

後日

国内避難民が
共同で設立していた
相互扶助基金から
ベレム家に
オスヤギが1頭
供与された

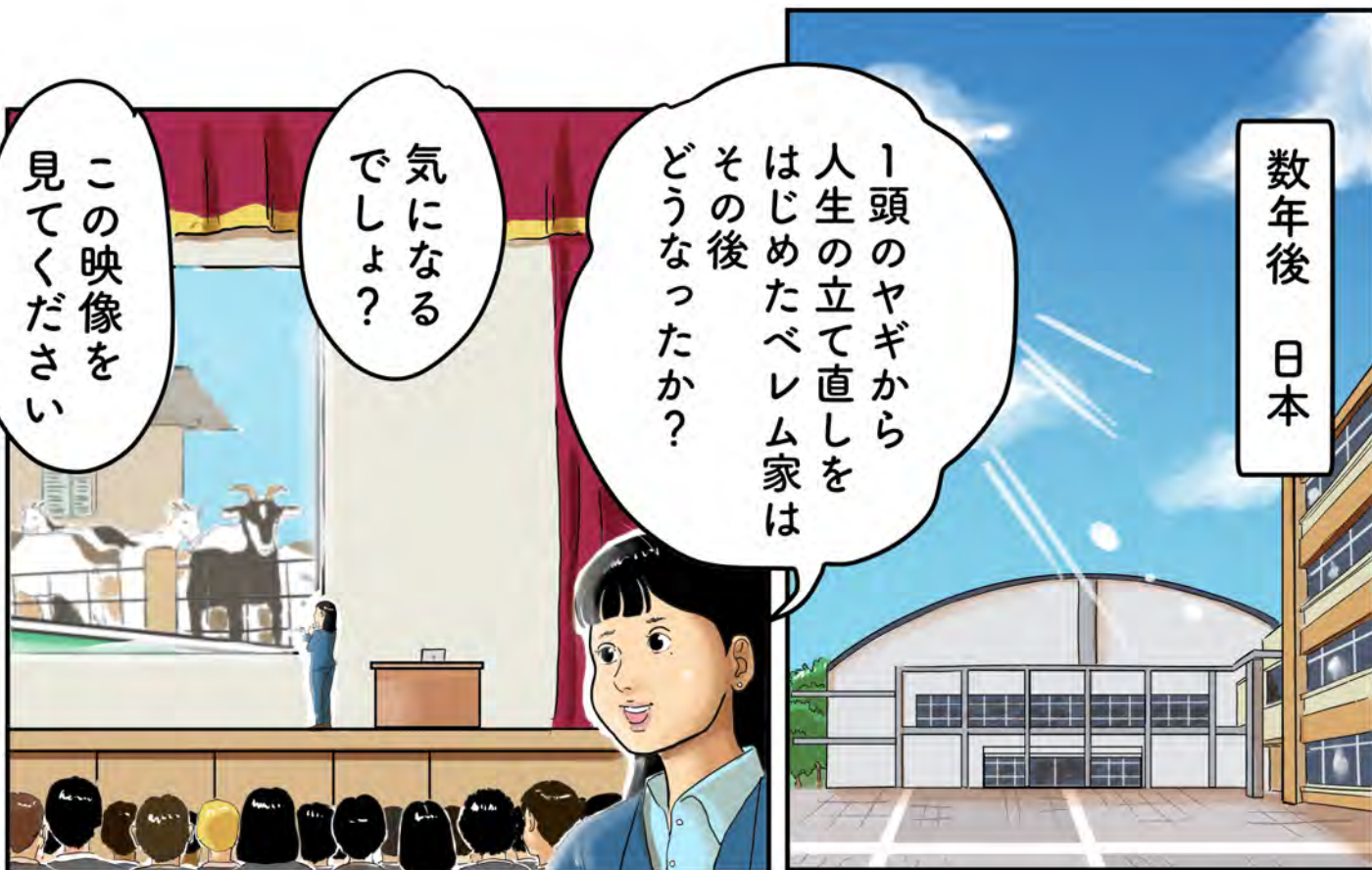


数年後 日本

1頭のヤギから
人生の立て直しを
はじめたベレム家は
その後
どうなったか？

気になる
でしょ？

この映像を
見てください



なんとその後
ヤギを順調に
増やしてゆき

10頭に
なりました



ずっと夢だった
薬屋も小規模ながら
再開できました



ベレム家の畑で
作られたゴマは...

私たちの食卓へ
届いているかも
しれませんね



現在UNDPの
職員として
活動している私が

リプタコ・グルマ地域
の若者の職業訓練を
通じて実感したのは





人間は
立ち直る力を
持っている



たとえ
全てを失った
としても



私たちに
できるのは
その力を
引き起こすこと

レジリエンスの力を



**From
the People of Japan**



Based on a true story of a family from the Liptako-Gourma region, West Africa.

Illustration by Rene Hoshino

Copyright © UNDP 2022

All rights reserved

No part of this publication may be reproduced without the written permission of UNDP.

For more information, please contact:

UNDP Representation Office in Tokyo

UN House 8F, 5-53-70 Jingumae

Shibuya-ku, Tokyo 150-0001

jp.undp.org